



2019年5月15日

各位

会社名 日産化学株式会社
 代表者名 取締役社長 木下小次郎
 (コード番号 4021 東証第1部)
 問合せ先 CSR・広報室長 宮地克明
 (TEL 03-4463-8123)

中期経営計画『Vista2021 StageⅡ』スタート
 —永続的成長への挑戦そして未来を切り拓く企業へ—

2016年度に始動した6カ年の中期経営計画Vista2021の後半3カ年(2019年度～2021年度)にあたるStageⅡをスタートいたしました。

1. StageⅠ総括

売上高は、新製品および卸売部門の計画未達などにより目標を下回りましたが、営業利益は、動物用医薬品原薬、光IPS向けディスプレイ材料の伸長により計画を達成しました。

(1) 売上高・営業利益 (単位：億円)

	2018		
	実績	中計	差異
売上高	2,049	2,170	-121
営業利益	371	350	+21
経常利益	391	356	+35
親会社株主に帰属する当期純利益	294	271	+23

(2) 課題

今後も増収増益基調を維持するためには、①収益が一部製品に牽引されていること、②新製品創出の遅れ、③成長の阻害要因となるリスクへの対応等が課題となっています。

2. Vista2021 StageⅡ概要

長期経営計画Progress2030の実現に向けて、その通過点となる2021年度のあるべき姿を定めました。StageⅠにおける課題解決に取り組むことで、将来への確かな足掛かりとします。また、企業存続にかかわる最重要課題であるコーポレートガバナンス、リスクマネジメント、コンプライアンスと、SDGsを踏まえたマテリアリティ(重要課題)への取り組みを強化することで、社会からの信頼を一層高めてまいります。

(1) 2021年度のあるべき姿

「機能性材料および農業化学品事業が業績を牽引し、次の成長エンジンが生まれている」
 「挑戦を楽しむ組織が実現し、多様な人材が目標に向かって能力を発揮している」
 「事業活動を通じて、社会の持続的な発展に貢献している」

(2) 基本戦略

- 1) 成長の源泉となる製品の利益拡大
- 2) 新製品創出力の強化
- 3) 社会および市場の変化への対応力向上

(3) 数値目標 (2021年度) (単位：億円)

	2018	2019	2021
	実績	予想	計画
売上高	2,049	2,105	2,350
営業利益	371	387	430
経常利益	391	402	440
親会社株主に帰属する当期純利益	294	302	330

以上